

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成 25 年度事業報告及び決算報告

I 平成 25 年度事業報告

【特定非営利活動に係る事業】

1. 住民活動支援事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 25 年 4 月～平成 26 月 6 月

内 容：岩船地域内における住民活動に関する各種支援（相談・仲介・情報提供等）の実施。

【事業実績】

朝日道の駅みどりの里内にある「グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）」にて、活動相談、情報提供、会議室の貸し出し、各種問合せ対応などの住民活動支援を実施。

【センター利用者数について】

25 年度（H25.4～H26.3）のセンター利用者数は、631 件（前年比 +50）／841 人（前年比 +31）であった。

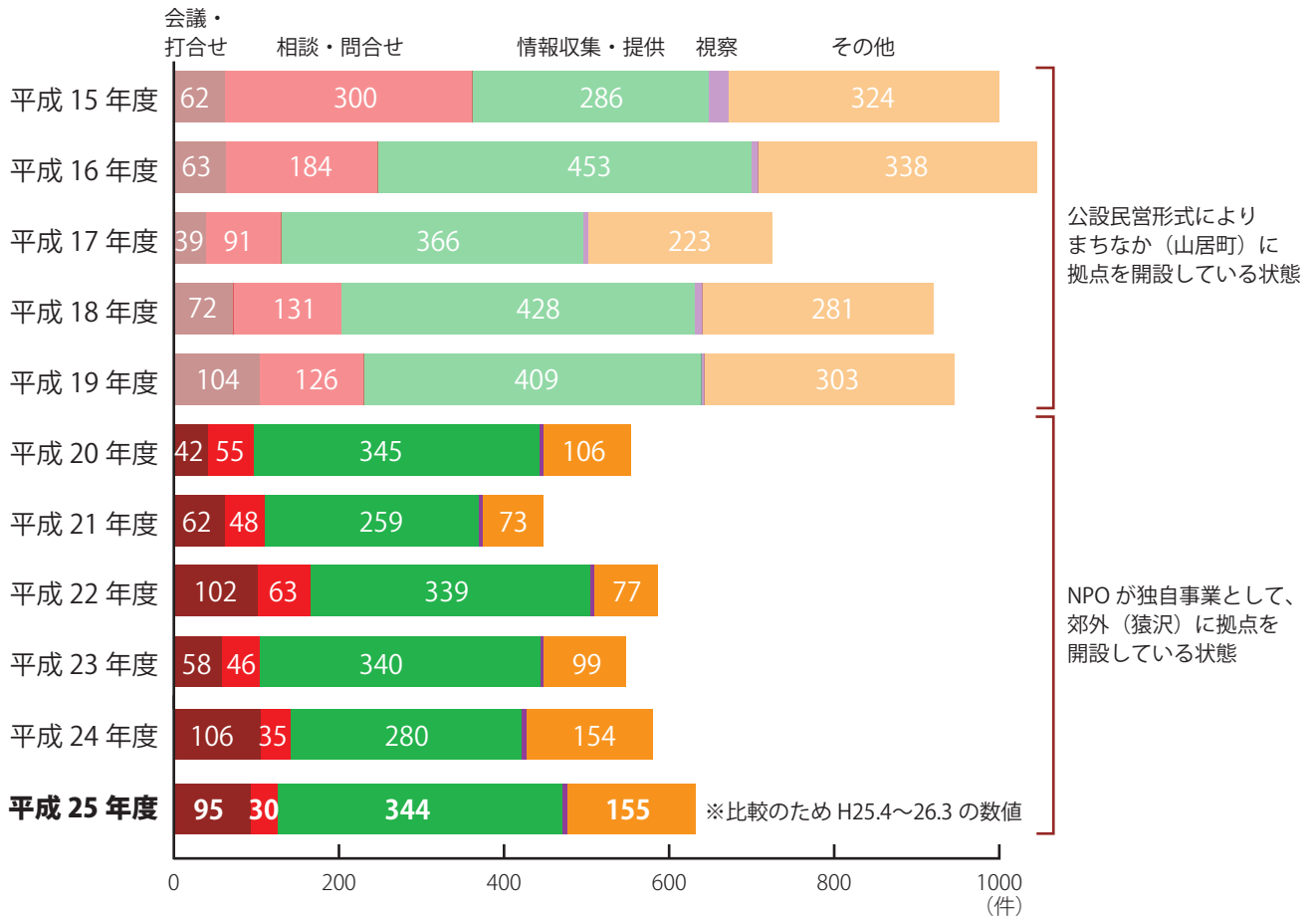


図 都岐沙羅パートナーズセンターの利用件数の推移

<利用件数の前年度との比較>

- 会議・打合せ →前年に比べ減少
- 相談・問い合わせ →過去最低だった昨年度を更に下回る
- 情報収集・提供 →前年度より約 2 割増加
- その他 →横ばい

2. コミュニティビジネス支援

25年度においては、特に実施せず。

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

1) 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局の運営（自主事業）

朝日みどりの里にある朝日グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）にて、官民協働で設立した「村上地域グリーン・ツーリズム協議会」の事務局を運営。各種会議の連絡調整・対外的な連絡窓口を担った。

（実施内容）

- 総会、幹事会、ワーキングチーム会議の運営
- 協議会の事務・経理作業

2) 村上グリーン・ツーリズム協議会事業の実施（自主事業）

村上地域グリーン・ツーリズム協議会の平成25年度事業について、全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。

【実施内容】

(1) 協議会自主事業

①首都圏での営業・PR活動（3回）

- 首都圏営業担当者及び団体手配担当者との新潟県観光情報交換会への参加

日 時：平成25年12月5日（木） 11:00～16:00

場 所：ホテルメトロポリタン池袋

内 容：教育旅行モデルコースの提案

参加者：首都圏のエージェント 164名



- 銀座ビジネス・ボンドにおける村上地域のPR活動

日 時：平成26年4月16日（水） 19:00～21:30

場 所：東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館1階ラウンジ「パピエ」

内 容：村上地域の食文化のPRを中心に地域紹介を実施。

参加者：都内の若手経営者 48名

- 日本エコツーリズムセンターとの情報交換・営業活動

日 時：平成26年4月17日（木） 10:00～

場 所：東京都荒川区西日暮里 NPO 法人日本エコツーリズムセンター

②インストラクター研修会（1回／参加者8名）

日 時：平成 26 年 3 月 25 日（火） 10：00～16：30

場 所：胎内市

講 師：たいない自然学校・代表
佐藤陽志氏

参加者：8 名



③プロモーション活動（3回）

●朝日神社新嘗祭イベント参加

日 時：平成 25 年 11 月 23 日

場 所：東京都港区六本木六丁目 7 番 14 号 芋洗坂 朝日神社

内 容：新嘗祭に合わせ神社境内にパネル展示、芋洗い体験、芋煮の配布を実施。神社主催で餅つきを行い振る舞った。

●東京油田もちもちイベント

日 時：平成 25 年 12 月 21 日

場 所：東京都墨田区八広・油田モール

内 容：年の瀬に餅つき体験、試食をしながら村上地域の PR 活動を実施。



●首都圏での「はさがけ」設置による村上地域の PR

日 時：平成 25 年 9 月～10 月

場 所：銀座紙パルプ会館、六本木ヒルズ等

内 容：はさがけ設置により都市部に農村風景を再現し、村上地域を PR。

【所 見】 地域の食を活かして誘客宣伝・プロモーション活動を都内で展開したことで、26 年度も継続してイベントを開催する繋がりができた。隣接市での取り組みを研修することで、今後は密な連携を図り教育旅行誘致に向けたきっかけづくりを図りたい。

(2)新潟県グリーン・ツーリズム大会 in 村上・関川・粟島におけるワークショップの企画運営



日 時：平成 25 年 10 月 16 日

場 所：村上市民ふれあいセンター

内 容：県内各地でグリーン・ツーリズムの推進に携わる人たち同志が、気軽な雰囲気の中で、お互いの情報交換や交流を深めるためのワークショップを実施。

【成 果】参加者：105 人

【所 見】天候の関係で当初の予定からは大幅に参加者が少なくなったが、15 グループで各テーブルのテーマにそった気軽な話し合いができた、この大会では初めての試みであったが、アンケートでも多くの方と話しができて良かったとの意見が多数寄せられた。

3) 地域資源活用推進事業～来てみて、食べて、村上・岩船まるごとプランづくり～（委託事業：県村上地域振興局）

- 【事業期間】 平成 25 年 6 月～平成 26 年 1 月
- 【事業概要】 村上・岩船地域内の温泉旅館及び観光地等を会場として、村上・岩船地域の特産品や地元食材を使った料理等の地域資源を観光客に紹介するイベントの企画及び集客力向上に向けた宿泊パック化を観光関係者と連携して実施。
- 【開催実績】 09/07 魅惑の村上牛を楽しむ（夜学）
10/20 村上・岩船ならではのご飯のお伴（ランチ）
 <オプションプログラム>
 ガイドと巡る豪商・豪農・大庄屋の屋敷。築 200 年の渡邊邸・見学ツアー ～改修工事中しか見られない裏側に迫る～
11/02 町屋 Bar ～おしゃれな空間でおしゃれに地酒を味わう～（夜学）
 <オプションツアープログラム>
 イケメン社長と鑑賞する「まちとつながる駅前旅館」
11/13 茅葺き古民家で楽しむ柿を使ったフルコース
 <オプションプログラム>
 ランチで食べた柿が育った場所を見に行こう！
11/20 秋の味覚！きのこ料理づくし（ランチ）
 <オプションプログラム>
 原木椎茸もぎとり体験



- 【成 果】 ●プログラム参加者数：延べ 153 人（おとなの夜学&ランチ）
 ● " ：延べ 34 人（オプションプログラム）
- 【所 見】 各回とも参加者の満足度は高く、当地域や食材についての知識を深める場となった。新たな取り組みであるオプションプログラムも好評で、食事から一歩踏み込んで、参加者の方が当地域に関わる機会をつくることができた。

4) 朝日まほろば夢農園管理事業（委託事業：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合）

都市住民との交流促進を目的に、村上市が朝日みどりの里内に開設した貸し農園（クラインガルテン）について、その管理運営を支援。

- 【実施期間】 平成 25 年 4 月～平成 26 年 6 月
- 【実施概要】 ①農園の使用者及び組合員への広報業務
 →夢農園プレス（11 回発行）／ホームページの更新



- ②農園利用者及び組合員の交流企画
→ 年6回の交流イベントを企画・コーディネート（開園式／山菜料理を楽しむ会／納涼祭／収穫祭／味噌づくり体験／栽培講習会）
- ③組合員の視察研修のコーディネート
- ④夢農園事務局業務（窓口・経理・イベント業務）

【成 果】

夢農園年間利用者数：延べ 561 人
交流イベントの参加者：延べ 147 人

5) 観光資源活用トータルプラン（委託事業／村上市観光協会）

【事業期間】 平成 25 年 4 月～平成 26 年 6 月

【概 要】 訪れた観光客に地域内の体験だけではなく「生業」「伝統・文化」の背景にある物語に触れてもらい、この地への共感や新たな交流を生み出す事を目的に、来訪者に提供できる仕組みの構築を目指す。

【開催実績】 ①既存の体験プログラムのデータベース作成

→ 29 団体、130 プログラムのデータを収集・整理し、関係者間での情報共有の仕組みを構築

②なりわい文化物語プログラムの企画立案

→ 鮭をテーマにしたプログラムは、これまでは村上市中心部のみを回る内容だったものを、市全域を回る内容（荒川・山北地区での「鮭」の現場も回る）を新たに開発し、モニターツアーを実施。

③モニターツアーの実施

→ 鮭をテーマにしたプログラムを新たに開発し、長岡造形大学の学生を対象としたモニターツアーを実施（参加者 44 名）。

④ガイドブックの原稿作成

→ ガイドブック（観光客等に販売するツール）作成については、顧客ニーズを十分に汲み取った編集が非常に重要であると考え、長岡造形大学と連携して作成することになり、大学側と具体的な進め方等を調整した。26 年春から製作をスタート。



- 【成 果】**
- ・観光協会内部で体験プログラムに関する情報共有が、少しずつではあるが動き出した。
 - ・「なりわい文化」という切り口により、局所的な展開だったプログラムが、全市的なプログラムへと発展しはじめた。
 - ・長岡造形大学との連携により、外部の目線（顧客目線）を取り入れたガイ

ドブックづくりがスタートした。

7) つきさらカントリーカレッジ事業 (自主事業)

【事業期間】 平成 25 年 7 月～平成 26 年 4 月

【事業概要】 村上岩船地域の魅力発信、交流人口増加を目指し、自然・人・食・生業・伝統文化などの地域財を活用して、これまでの体験より一步踏み込んだ田舎を学ぶ講座を開催。

【開催実績】 イベントの開催計 16 回開催

(1) 炭焼きプログラム<第 1 回>

開催日：平成 25 年 12 月 15 日 (日)

開催場所：海沼順一さんの炭窯
(村上市関口)

内 容：材料の窯入れ・講義「炭焼き

参加人数：5 名

(2) 炭焼きプログラム<第 2 回>

開催日：平成 26 年 1 月 19 日 (日)

開催場所：海沼順一さんの炭窯
(村上市関口)

内 容：炭窯への火入れ・講義
「炭窯の作り方」

参加人数：5 名

(3) 炭焼きプログラム<第 3 回>

開催日：平成 26 年 2 月 2 日 (日)

開催場所：海沼順一さんの炭窯
(村上市関口)

内 容：自宅でできる炭焼き・講座
「炭について」

参加人数：2 名

(4) 炭焼きプログラム<第 4 回>

開催日：平成 26 年 2 月 5 日 (水)

開催場所：海沼順一さんの炭窯 (村上市関口)

内 容：窯出しと炭の切出し・講義「木酢液の活用」

参加人数：4 名

(5) 養蚕農家に学ぶプログラム<第 1 回>

開催日：平成 25 年 9 月 14 日 (土)

開催場所：村上総合文化会館 調理室 (村上市岩沢)

内 容：桑抹茶スイーツづくり・講義「養蚕農家の暮らし」

参加人数：13 名

(6) 養蚕農家に学ぶプログラム<第 2 回>

開催日：平成 26 年 1 月 18 日 (土)

つきたら
カントリーカレッジ
「田舎体験」から一歩進んだ「田舎を学ぶ」
2013年度プログラム開催中！(随時受付中)

- 百姓科
農耕体験を通じて、食文化の歴史・食文化の発展・食文化の継承について学びます。
- 酒づくり科
酒造りに関する知識・技術・文化を学びます。
- 薪づくり科
薪の製法・薪の活用について学びます。
- 伝統工芸科
伝統工芸の歴史・文化・技術について学びます。
- 出羽街道歴史学科
出羽街道の歴史・文化について学びます。
- 季節プログラム
季節の行事・文化について学びます。

【お問い合わせ 申込み】
NPO 法人 都岐沙羅パートナーズセンター
〒952-8501 新潟県村上市関口 1-1-1 都岐沙羅パートナーズセンター
TEL: 025-252-1111 FAX: 025-252-1112 E-MAIL: info@countrycollege.org

http://countrycollege.blog.fc2.com



とは」

開催場所：まゆの花の会 工房（村上市猿沢）
内 容：繭を使った化粧水づくり・講義
「養蚕の歴史」

参加人数：2名

(7) 酒づくりプログラム<第1回>

開催日：平成25年9月22日（日）

開催場所：高根醸造場（村上市高根）

内 容：講義「どぶろくとは」・どぶろく白の仕込み

参加人数：4名

(8) 酒づくりプログラム<第2回>

開催日：平成25年11月24日（日）

開催場所：高根醸造場（村上市高根）

内 容：講義「アルコール度数計測」・どぶろく赤の仕込み

参加人数：4名

(9) 酒づくりプログラム<第3回>

開催日：平成26年2月2日（日）

開催場所：高根醸造場（村上市高根）

内 容：講義「どぶろくの熟成」・雪中貯蔵

参加人数：4名

(10) 酒づくりプログラム<第4回>

開催日：平成26年4月20日（日）

開催場所：高根醸造場（村上市高根）

内 容：雪中貯蔵蔵出し

参加人数：3名

(11) そば打ちプログラム

開催日：平成25年11月23日（土）

開催場所：食堂 IRORI（村上市高根）

内 容：講義「そば打ちの極意」・そば打ち指導

参加人数：2名

(12) 収穫プログラム<第1回>

開催日：平成25年7月28日（日）

開催場所：村上総合文化会館調理室（村上市岩沢）

内 容：夏野菜を収穫してピクルスをつくる

参加人数：15名

(13) 収穫プログラム<第2回>

開催日：平成25年9月7日（土）

開催場所：またぎの家（村上市猿沢）

内 容：枝豆の収穫・枝豆の茹で方講習

参加人数：14名

(14) 伝統工芸プログラム<第1回>

開催日：平成25年10月19日（土）

開催場所：村上木彫堆朱会館（村上市松原町）



内 容：箬の木彫り

参加人数：3名

(15) 伝統工芸プログラム<第2回>

開 催 日：平成25年11月2日（土）

開催場所：山上染物店（村上市肴町）

内 容：箬入れの茶染め

参加人数：4名

(16) 伝統工芸プログラム<第3回>

開 催 日：平成25年11月30日（土）

開催場所：URUSHI OHTAKI（村上市上片町）

内 容：箬置きに漆で絵付け

参加人数：4名



【成 果】 参加者数：延べ88名

【所 見】 広報に課題が残り、最少催行人数に達しなかったために実施できなかったプログラムも多かったものの、これまでにないプログラム内容のため、大変好評で、今後への期待の声が高まった。当初は地域外の方を対象とした講座だったが、地域内の方が参加されることも多く、新たなニーズを掴むきっかけともなった。

4. 地域づくり事業のコーディネート

1) 学校と地域を結ぶオープンセッション（事業協力：村上市教育委員会）

【概 要】 学校と地域の様々な知識や技能を持った人々が、情報交換することにより地域みんなで子供達を育てる体制づくりを目指す事を目的に、学校関係者と地域の方々と一緒に会し情報交換を行う。

【開催実績】 平成25年8月6日 13:30～16:40

村上市総合文化会館・公民館ホール

<内容>

- ・活動事例発表「青空教室」～かかわりを深めよう～ 金屋小学校
- ・グループトーク「学校と地域のかかわりを深めるには？」
- ・情報交換（ブース形式でのフリートーク）

【成 果】 地域団体23団体（34名）・学校関係者（84名）

【所 見】 郷育会議との連携で学校と地域が集う情報交換の場所として定着し、今回はPTA関係者の参加も増えた。8回目になり、地域団体の参加も定着してきたが、今後は新しい団体参加も促す必要性がある。



2) 保育園の活用策を探るワークショップ運営支援 (委託:あらかわ地区まちづくり協議会)

- 【事業期間】 平成 25 年 11 月～平成 26 年 2 月
- 【概要】 26 年春に廃園となる 3 保育園（大津保育園、坂町保育園、荒島保育園）の具体的な活用方針を検討するワークショップの運営支援。
- 【開催実績】 ワークショッププログラムの立案及び当日運営支援（3回）
第 1 回：平成 25 年 12 月 8 日（日）
第 2 回：平成 26 年 1 月 19 日（日）
第 3 回：平成 26 年 2 月 9 日（日）
- 【成果】 まちづくり協議会が遊休化する公共施設の利活用について、行政内部での方針決定する前に市民レベルで検討し、まちづくり協議会から市担当課へ提案することができた。まさに「協働」にふさわしい取り組みであり、こうした取り組みに対してワークショップの運営ノウハウの提供という面で後方支援できたことは、大変有意義であった。



3) 庄内・村上岩船地域広域連携推進会議 (事業協力:山形県庄内総合支所・新潟県村上地域振興局)

- 【期間】 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
- 【概要】 隣接する山形県庄内地方と村上岩船地域との地域連携を推進するための事業実施。両地域の行政・NPO等で協議会を組織し、具体的な連携事業を実施。当センターは協議会の村上側の事務局として実施した全事業の企画・調整コーディネートを担当。
- 【開催実績】 ①江戸川区ボランティアフェスティバル
日時：平成 25 年 7 月 14 日
場所：東京都江戸川区 タワーホール船堀
内容：鶴岡市との関係の深い江戸川区で行われたイベントに、両地域の食や工芸などを展示し PR を行った。
- ②子供交流事業「小俣の森を体験しよう！」
日時：平成 25 年 8 月 24 日
場所：村上市小俣（ふれあい処・小俣屋）
内容：両地域の子供達が、地域体験をしながら交流。
昼食（けんさ焼き）づくり体験／出羽街道・小俣ウォーキング／川遊び
- ③銀座ファームエイド
日時：平成 25 年 10 月 13 日
場所：東京都中央区（紙パルプ会館）
内容：村上地域で連携を図っている銀座ミツバチプロジェクトがおこなっている銀座ファームエイドに両地域で参加し物産の販売、食のプレゼンテーションをおこない地域を PR した。



【所 見】 両県が繋がりのある首都圏の団体との交流ができ、交流の輪が広がった。初めての試みの子供達の交流事業は参加者募集で苦労したが、今後の両県の交流を継続するための大切な事業として位置づけられる。

4) 大槌町復興まちづくり計画策定支援 (委託：(株) 都市環境研究所)

【期 間】 平成 25 年 8 月～平成 25 年 12 月
 【概 要】 岩手県大槌町の震災復興計画の見直しに際し、コンサルタントチームの一員として参画し、地方における産業分野の復興に対して専門的な知見（特にコミュニティビジネス育成）を提供。

【実施実績】 庁内ワーキングへの出席 (H25.10.2)
 産業関係者へのヒアリングの実施 (H25.10.23 / 10.31)
 産業分科会への出席 (H25.11.11 / 11.22 / 12.18)

【所 見】 震災復興に向けた事業（特にソフト事業分野）の中に、コミュニティビジネス育成が明記された。ただし、今回はあくまでも復興事業の中に位置づけただけであり、実施していくための継続的なサポート（地元が中心となった支援機関の発足を含む）が不可欠であると感じた。



5) 多様な担い手の連携・協働による CSV 創出プロジェクト

(国土交通省交付金事業 (委託形式)：(株) 日本能率協会総合研究所/国土交通省)

【期 間】 平成 25 年 6 月～平成 26 年 3 月
 【概 要】 NPO・民間企業同士の連携・協働を促し、新たな地域づくり活動を生み出す仕組みを、CSV という視点から再構築するために、(一社) いわふね青年会議所と協働して、NPO 活動の実態調査やマッチングイベント(=まちカフェ)を実施。

【開催実績】 I. NPO と民間企業の連携・協働事例実態調査の実施及びその情報発信
 ①市民団体・NPO へのアンケート調査及びその情報発信
 ・NPO 側からの情報開示が重要。団体が提供できること・求めていることなどをアンケート調査。84 団体に依頼したところ 49 団体

から回答が得られた（回答率 58.3%）。

- ・アンケート結果を基に、各団体の活動を紹介するパネル展や WEB 上でのデータベース公開した（いわふね JC の HP から閲覧可）。

② NPO と企業の協働事例調査及び事例集の作成

- ・お互いに WIN-WIN となっている NPO と企業の協働事例を調査し、その詳細を掲載した事例集を作成して、CSV や NPO と企業の協働を身近に感じてもらうことで普及啓発を行った。

II. 新しい民民連携を促すマッチングイベントの実施及び支援メニュー整備

① マッチングを生み出すためのプログラム内容の検証実験

- ・ワールドカフェをアレンジしたプログラムでプレイベントを開催し、その有効性を検証。

② マッチングイベントの本格実施

- ・①の結果を踏まえてマッチングイベントを開催し、新たな協働事業の種・芽を創出。

③ CSV を育成するための支援メニューの整備



- 【成 果】
- 村上岩船地域の市民団体 49 団体のデータベースを構築し、web 上で公開した（いわふね JC の HP から閲覧可）。
 - 地域内の市民団体一覧を作成し、地域内に新聞折り込みで配布。
 - CSV の普及啓発の冊子「協働の本」を作成し、地域内に配布。
 - まちカフェを 2 回開催。延べ 51 団体、120 名が参加。新たな連携事業の種や事業企画が 4 件創出された。

- 【所 見】 NPO と企業の新しい協働の形（＝ CSV）を浸透させるための情報共有ツールと、マッチングのための仕掛けが構築できた。

6) SME 担い手発掘 & 起業支援（委託：東京大学（大槌イノベーション協創事業））

【期 間】 平成 25 年 5 月～平成 26 年 3 月

【概 要】 岩手県大槌町の震災復興の一環として、東京大学が中心となって実施している「大槌イノベーション協創事業」に外部アドバイザーとして参画し、地方におけるコミュニティビジネスの立ち上げに関して、専門的知見からの助言・指導を実施。

【実施実績】 産業関係者へのヒアリングの実施（随時）

漁協婦人部や仮設住宅団地での交流サロン開催（食文化に関する調査）

新巻鮭に関する物語を伝えるためのツール作成

首都圏での鮭製品販売実験（モニタリング調査）

【所 見】 村上と同様、大槌町は鮭に特別な思い入れを持っていることから、鮭を中心とした地域ブランドの創出を目指し、各種事業を展開。東大が有している専門知識や首都圏でのネットワークを活かし、新たな事業の立ち上げに向けた準備が着実に進みつつある。しかし、地方特有の地域事情が複雑に絡み合っており、地元の担い手育成については、今後の課題である。



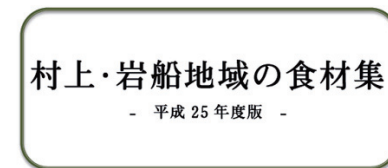
7) 地域食材活用促進事業「村上・岩船地域の食材集」の作成 (委託：県村上地域振興局)

【期 間】 平成 26 年 1 月～ 3 月

【概 要】 村上・岩船地域の食材を広く PR し、地産地消の推進及び利活用を促進するため、地域食材及び郷土食を収集し、電子データとしてまとめ、冊子化する。

【実施実績】 穀物・野菜・果実・きのこ・山菜・水産物・畜産物・加工品・郷土料理・花など多種 100 品目にわたる食材集を作成し、今後更新可能な電子データと冊子を作成。

【所 見】 村上岩船地域は、山・川・里・海と自然環境が豊かなことから、一般野菜を含め、様々な種類の食材が生産され、今後、利活用の可能性が大いにありと形に残すことができた。また、ヒアリング調査を行う中で、当地域での生産物としてあまり知られていない食材や郷土料理があることもわかり、食の分野で地域財発掘を行う機会となった。



8) 蒲萄スキー場活性化検討ワークショップ (委託：村上市 (商工観光課))

【期 間】 平成 25 年 6 月～ 9 月

【概 要】 蒲萄スキー場の再開に向けて、地域住民が積極的に参画して取り組む新たな活性化策を検討するワークショップの企画・運営。

【開催実績】 ワークショッププログラムの立案及び当日運営 (4 回)

第 1 回：平成 25 年 7 月 22 日 (月)

第 2 回：平成 25 年 8 月 7 日 (水)

第 3 回：平成 25 年 8 月 22 日 (木)

第 4 回：平成 25 年 9 月 5 日 (木)

【成 果】 活性化に向けた 3 つの方向性が明確になり、それぞれ具体化に向けた協議を継続していくことになった。

【所 見】 活性化策は「やりたいこと」「できること」「求められていること」の交差部分



で事業を考えることが重要（ニーズに基づかない施策は自己満足に過ぎない）であることから、単に行政への「要望」のみを話し合う場とはせず、地元住民が主体的に取り組む活性化策を話し合う場となるように、コーディネートした。進展具合は緩やかであったが、参加者側に着実に当事者意識が芽生えつつある。

9) 岩船郡・村上市木質バイオマス利活用計画書作成業務

(委託：新潟県北部地域森林整備加速化・林業再生事業推進部会)

- 【期 間】 平成 25 年 5 月～平成 26 年 9 月
- 【概 要】 当地域の利用可能量を適切に把握するとともに、現在稼働している既存施設（チップ製造・おが粉製造・キノコ生産）の原材料消費量や将来の必要量の把握とあわせ、地域産業の振興を行う視点で、産学官連携の下、バイオマス施設の整備方針や整備手法を調査・検討する。
- 【開催実績】 地域内でのアンケート調査の実施
検討委員会及びワーキングチームの開催
- 【所 見】 地域の現状は、アンケート集計等により把握できた、しかし地域の諸事情により、実行計画について方向性が確定せず委託期間の延長となった。今後実行性のある計画書の作成を進める予定。



5. 商品開発支援

1) 村上逸品発掘交流会事業 (委託事業：村上市地産地消推進協議会／村上市)

- 【概 要】 農商工連携による新商品・新サービス開発、販路拡大のきっかけづくりを目的に、地域内外の農商工関係者が集まり、実際の産物・製品を見ながら参加者同士で情報・意見交換会・品評会を実施。
- 【開催実績】 平成 25 年 11 月 17 日 (日) 参加者：39 名 出品団体：4 団体
- 【所 見】 農商工連携フェアと同時開催にしたことによって、午前の素材見本市では多くの方が来場し、一般消費者からの意見を多く聞くことができた。また、素材見本市の時間を長くとったことで、出品者と消費者が直接意見交換や交流ができる時間が多く、地域の産物をより多くの方に知ってもらおうといった点で大変成果があった。午後の意見交換会では、商品のブラッシュアップにつながる意見が多く出され、出品者の今後の参考とする有意義な意見交換会であったと言える。



6. 情報受発信事業

1) つきさらパートナーズプレスの発行（自主事業）

【概要】 中間支援組織としての当団体の活動周知を目的に、毎月広報紙を発行する。

【実績】 発行回数：8回
発行時期：H25年4～9月／H26年1月／3月
発行部数：1,000部

2) 週末観光情報の編集・情報提供（自主事業）

【概要】 週末に村上岩船地域内に訪れる観光客を対象にした情報発信ツールとして、「週末観光情報」を作成し、地域内の観光施設や道の駅等に掲示してもらう。（データを毎週木曜日に配信し、各所でプリントアウトの上、掲示してもらっている）

【実績】 発行回数：21回
※H25年4～11月は毎週発行
※H25年11月に配信先にアンケート調査を実施して配信頻度を再検討
※H26.1より月1回発行
配信先：24カ所

（配信先内訳） 江戸庄／夕日会館／朝日みどりの里／県農業改良普及センター／村上地域振興局地域振興課／関川村農林観光課／瀬波温泉旅館組合／村上市観光協会／吉田や／大和屋／ホテル瀬波観光／大観荘／汐美荘／静雲荘／ニューハートピア新潟／大清水／瀬波ビューホテル／はぎのや／盤舟／村上市商工観光課／角長／イヨボヤ会館／村上市民ふれあいセンター／神林道の駅

7. 講師派遣・視察受入

1) 視察受入

25年度の視察等の受入実績は以下のとおり。

	受入日	訪問者	人数	備考
1	H25.07.3~4	被災地支援団地うましか 延足圭祐さん	1	ヒアリング対応
2	H25.09.24	茨城大学新文学部	16	ヒアリング対応
3	H25.09.26	岐阜県立森林文化アカデミー	7	ヒアリング対応
4	H25.10.24	国土交通省	6	ヒアリング対応
5	H25.12.12	NSG グループ	1	ヒアリング対応
6	H26.03.12	金沢大学大学院 定免久美子氏	1	有償

【その他事業】

1. 物販事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 25 年 4 月～平成 26 月 6 月

内 容：NPO 法人まちづくり学校が発行したまちづくりテキストブック「マチダス 2011」の委託販売を実施。

【NPO 法人の運営】

1. 理事・事務局スタッフの活動

1) 講演・講師 (16 件)

- H25/06/07 東京大学工学部都市工学科非常勤講師 (斎藤事務局長)
- H25/06/14 東京大学工学部都市工学科非常勤講師 (斎藤事務局長)
- H25/06/21 東京大学工学部都市工学科非常勤講師 (斎藤事務局長)
- H25/06/21 東京大学まちづくり&アーバンデザインセンターフォーラム事例報告(斎藤事務局長)
- H25/06/28 東京大学工学部都市工学科非常勤講師 (斎藤事務局長)
- H25/07/10 共同通信 / 地・宝・人ネットシンポジウム (大滝理事)
- H25/07/20 柏崎子ども劇場・運営検討ワークショップ (斎藤事務局長)
- H25/08/27 新潟県レクリエーション協会 / スポーツレクリエーションプランナー養成講座 (斎藤事務局長)
- H25/11/12 新潟県レクリエーション協会 / スポーツレクリエーションプランナー養成講座 (斎藤事務局長)
- H25/11/14 新潟県レクリエーション協会 / スポーツレクリエーションプランナー養成講座 (斎藤事務局長)
- H25/11/19 新潟県レクリエーション協会 / スポーツレクリエーションプランナー養成講座 (斎藤事務局長)
- H25/11/21 新潟県レクリエーション協会 / スポーツレクリエーションプランナー養成講座 (斎藤事務局長)
- H25/11/29 集落問題リーダー養成講座 (斎藤事務局長)
- H25/12/13 中小企業大学校三条校 / 能力強化研修 講師 (大滝理事)
- H25/12/21 新潟県レクリエーション協会 / スポーツレクリエーションプランナー養成講座発表会 (斎藤事務局長)
- H26/02/18 新居浜市 / 協働を考える研修会 (斎藤事務局長)

2) 委員会・会議出席 (29 件)

- H25/04/07 柏崎市元気なまちづくり事業補助金 事業報告会 審査員 (大滝理事)
- H25/04/16 うまさぎっしり新潟 DC 協議会・通常総会 (斎藤事務局長)
- H25/04/27 柏崎市元気なまちづくり事業補助金 公開審査会 審査員 (大滝理事)
- H25/05/10 村上市観光協会・総会 (斎藤事務局長)
- H25/07/30 村上市観光協会・観光資源活用トータルプラン特別委員会 (斎藤事務局長)
- H25/08/05 村上地域食育ワーキングチーム検討会 (村山副理事長)
- H25/08/19 うまさぎっしり新潟 DC 協議会 (斎藤事務局長)
- H25/08/21 新潟県新しい公共支援事業ヒアリング (斎藤事務局長)
- H25/08/22 うまさぎっしり新潟 DC 協議会・意見交換会 (斎藤事務局長)
- H25/08/26 JTB 総研・ICT を観光に活かす勉強会 (斎藤事務局長)
- H25/08/27 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤事務局長)
- H25/08/27 村上市観光協会・観光資源活用トータルプラン特別委員会 (斎藤事務局長)
- H25/09/04 雑誌「Life.mag」取材対応 (斎藤事務局長)
- H25/09/13 関川村下関地区活性化に関する意見交換会 (斎藤事務局長)

- H25/09/27 食のモデル地域構築計画協議会（斎藤事務局長）
- H26/01/21 村上駅周辺まちづくり懇談会（大滝理事・斎藤事務局長）
- H26/01/24 村上地域食育ネットワーク強化会議（副理事長）
- H26/01/29 村上駅周辺まちづくり懇談会（大滝理事・斎藤事務局長）
- H26/02/05 BSN ラジオ出演（まちカフェについて）（大滝理事）
- H26/02/06 村上駅周辺まちづくり懇談会（大滝理事）
- H26/02/12 駅周辺まちづくりプラン等策定委員会（村山副理事長）
- H26/02/21 駅周辺まちづくりプラン等策定委員会（村山副理事長）
- H26/03/17 駅周辺まちづくりプラン等策定委員会（村山副理事長）
- H26/03/17 村上市観光協会 / 観光資源活用トータルプラン成果報告会（斎藤事務局長）
- H26/04/10 村上市観光協会・観光資源活用トータルプラン特別委員会（斎藤事務局長）
- H26/04/23 村上市観光協会・観光資源活用トータルプラン特別委員会（斎藤事務局長）
- H26/05/12 村上市観光協会・観光資源活用トータルプラン特別委員会（斎藤事務局長）
- H26/05/15 村上市観光協会・総会（斎藤事務局長）
- H26/06/03 駅周辺まちづくりプラン等策定委員会（村山副理事長）

3) 法人運営に関する活動

①理事会（14回開催）

- H25/04/03 第1回（出席者14名 / 24年度決算見込・25年度事業見込等）
- H25/04/30 第2回（出席者8名 / 25年度事業見込等）
- H25/06/26 第3回（出席者8名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H25/07/24 第4回（出席者9名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H25/08/20 第5回（出席者9名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H25/09/20 第6回（出席者9名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H25/10/24 第7回（出席者9名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H25/12/04 第8回（出席者8名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H26/01/22 第9回（出席者11名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H26/02/20 第10回（出席者8名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H26/03/24 第11回（出席者9名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H26/04/22 第12回（出席者7名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼検討）
- H26/05/28 第13回（出席者10名 / 今後の運営について）
- H26/06/18 第14回（出席者12名 / 今後の運営について）

②三役会議（1回開催）

開催無し

③部会

開催無し

II 平成 25 年度決算報告

平成25年度 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 活動計算書

平成25年4月1日～平成26年6月30日

科目・摘要	金額 (円)		増 減	備 考
	当初予算	決算額		
I 経常収益				
1. 受取会費	570,000	467,000	▲ 103,000	
正会員受取会費	150,000	123,000	▲ 27,000	
賛助会員受取会費	420,000	344,000	▲ 76,000	
2. 受取寄付金	50,000	11,000	▲ 39,000	
3. 受取助成金等	0	184,863	184,863	
4. 事業収益 (特定非営利活動に係る事業)	14,190,000	15,896,862	1,706,862	
①住民活動支援	0	0	0	
②CB/SB支援事業	0	0	0	
③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	3,850,000	5,601,482	1,751,482	
④地域づくり事業のコーディネート	4,250,000	9,747,970	5,497,970	
⑤商品開発支援事業	500,000	521,850	21,850	詳細は別紙1内訳書参照
⑥情報受発信事業	0	0	0	
⑦講座・研修会の企画運営	0	0	0	
⑧講師派遣・視察受入	50,000	25,560	▲ 24,440	
⑨その他	5,540,000	0	▲ 5,540,000	決算額は①～⑧へ算入
5. 事業収益 (その他事業)	25,000	7,500	▲ 17,500	
6. その他収益	0	59,184	59,184	
受取利息	0	321	321	
受取配当金	0	400	400	
雑収入	0	58,463	58,463	
経常収益 計	14,835,000	16,626,409	1,791,409	
II 経常費用				
1. 事業費	12,137,910	15,267,913	3,130,003	
人件費	8,247,910	10,053,930	1,806,020	
その他経費	3,890,000	5,213,983	1,323,983	詳細は「財務諸表の注記」を参照
2. 管理費	2,689,000	2,512,067	▲ 176,933	
人件費	866,000	721,125	▲ 144,875	
給与手当	825,000	721,125	▲ 103,875	事務局職員 (パート)
法定福利費	11,000	0	▲ 11,000	
福利厚生費	30,000	0	▲ 30,000	
その他経費	1,823,000	1,790,942	▲ 32,058	
外注費	285,000	426,000	141,000	HP管理業務・税理士決算業務 (2カ年分)
旅費交通費	655,000	421,260	▲ 233,740	職員業務移動交通費・事務局長交通費
理事会交通費	240,000	55,940	▲ 184,060	役員交通費
事務用品費	12,000	20,522	8,522	
消耗品費	0	3,285	3,285	
印刷費	140,000	110,550	▲ 29,450	名刺/封筒
通信費	75,000	62,817	▲ 12,183	
水道光熱費	0	8,490	8,490	社用車ガソリン代
使用料及び借料	10,000	15,100	5,100	
会議費	0	24,770	24,770	
広告宣伝費	12,000	5,250	▲ 6,750	
支払手数料	6,000	4,719	▲ 1,281	
接待交際費	0	0	0	
租税公課	8,000	43,900	35,900	契約用収入印紙・消費税・自動車税
支払利息	0	71,341	71,341	NPO応援ローン利息
法人税・住民税及び事業税	70,000	87,702	17,702	
消費税納付額	180,000	248,300	68,300	
雑費	130,000	180,996	50,996	HP更新負担金 (新潟コンベンション協会) / 諸会費
3. 予備費	8,090	0		
経常費用 計	14,835,000	17,779,980	2,944,980	
当期経常増減額				
III 経常外収益				
1. 固定資産売却益		0		
2. 過年度損益修正益		0		
経常外収益 計		0		
IV 経常外費用				
1. 固定資産除却損		0		
2. 過年度損益修正損		0		
経常外費用 計		0		
経理区分振替額		7,500		その他事業会計→特定非営利活動に係る事業会計
当期正味財産増減額	0	▲ 1,153,571		
前期繰越正味財産額	149,333	149,333	0	
次期繰越正味財産額	149,333	▲ 1,004,238	▲ 1,153,571	

別紙1 事業収益の内訳

種別	事業名	金額	備考	
特定非営利活動に係る事業	発・地域プログラム開 村上地域GT協議会事業	817,700	実費弁償：村上地域GT協議会／委託：村上市	
	地域資源活用推進事業	1,099,382	委託：村上地域振興局	
	朝日まほろば夢農園管理事業	2,018,400	委託：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合	
	観光資源活用トータルプラン事業	1,470,000	委託：村上市観光協会	
	つきさらカントリーカレッジ開催事業	196,000	自主事業	
	地域づくり支援事業	学校と地域を結ぶオープンセッション企画運営	400,000	事業負担金
		保育園の活用策を探るワークショップ運営支援	224,700	委託：あらかわ地区まちづくり協議会
		庄内・村上岩船地域広域連携事業	295,570	事業負担金
		大槌町復興まちづくり計画策定支援	2,000,000	委託：(株)都市環境研究所
		多様な担い手の連携・協働によるCSV創出プロジェクト	2,500,000	委託：(株)日本能率協会総合研究所／国交省
		SME担い手発掘&起業支援	1,074,800	委託：東京大学・大槌イノベーション協創事業
		地域食材活用促進事業	249,900	委託：村上地域振興局
		蒲萄スキー場活用化検討ワークショップ	210,000	委託：村上市
	木質バイオマス利活用計画検討業務	2,793,000	委託：新潟北部地域林業振興協議会	
	商品開発	村上逸品発掘交流会企画運営	521,850	委託：村上市地産地消推進協議会
	講師派遣・視察受入	25,560	自主事業	
	情報発信事業	0	自主事業	
		計	15,896,862	
	その他	物販事業	7,500	自主：書籍(マナダス2011)販売
計		7,500		

別紙2 事業費の内訳

科目	非営利事業	補助金・助成金事業	その他事業	備考
(1) 人件費				
職員給料手当	7,437,866			事務局職員 (3名分)
臨時雇賃金	125,250			アルバイト (1名)
法定福利費	1,041,999			社会保険料事業主負担分
福利厚生費	23,815			健康診断・事業主負担分
事業スタッフ報酬	1,425,000			事業従事者への報酬
人件費 計	10,053,930	0	0	
(2) その他経費				
外注費	265,000	87,600		
謝金	296,000			講師謝金
旅費交通費	758,242			職員移動旅費
事務用品費	155,712			
消耗品費	52,189			
材料費	761,702	25,000		体験等材料費
印刷費	992,966			チラシ・ポスター等印刷費
会議費	61,226			茶菓代等
通信費	740,277			メール便・郵送費
使用料及び借料	128,620			会場使用料等
水道光熱費	551,398	10,000		GT推進拠点経費等
新聞図書費	38,720			新聞購読費
支払手数料	5,067			
リース料	241,759			GT推進拠点経費
備品消耗品	22,345			
接待交際費	7,660			
租税公課	6,800			
保険料	2,000			
雑費	3,700			
その他経費 計	5,091,383	122,600	0	
事業費 計	15,145,313	122,600	0	

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、原価基準により評価方法は総平均法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業					補助金・助成 金事業	その他の事業		事業部門計
	地域ツーリズム開 発・プロモーション 事業	地域づくり支援 事業	商品開発支援 事業	情報発信事業	講師派遣・ 視察受入		物販事業		
(1) 人件費									
職員給料手当	3,194,933	4,006,933	236,000	0	0	0	0	0	7,437,866
臨時雇賃金	125,250	0	0	0	0	0	0	0	125,250
法定福利費	444,800	564,298	32,902	0	0	0	0	0	1,041,999
福利厚生費	23,815	0	0	0	0	0	0	0	23,815
事業スタッフ報酬	0	1,425,000	0	0	0	0	0	0	1,425,000
人件費計	3,788,798	5,996,231	268,902	0	0	0	0	0	10,053,930
(2) その他経費									
外注費	65,000	200,000	0	0	0	87,600	0	0	352,600
謝金	178,000	58,000	60,000	0	0	0	0	0	296,000
旅費交通費	34,400	683,642	40,200	0	0	0	0	0	758,242
事務用品費	155,712	0	0	0	0	0	0	0	155,712
消耗品費	49,112	3,077	0	0	0	0	0	0	52,189
材料費	611,309	148,039	2,354	0	0	25,000	0	0	786,702
印刷費	468,693	408,983	0	115,290	0	0	0	0	992,966
会議費	8,500	52,726	0	0	0	0	0	0	61,226
通信費	472,232	52,571	7,650	207,824	0	0	0	0	740,277
使用料及び借料	50,000	78,620	0	0	0	0	0	0	128,620
水道光熱費	496,629	47,055	7,714	0	0	10,000	0	0	561,398
新聞図書費	32,000	6,720	0	0	0	0	0	0	38,720
支払手数料	1,059	4,008	0	0	0	0	0	0	5,067
リース料	241,759	0	0	0	0	0	0	0	241,759
備品消耗品	22,345	0	0	0	0	0	0	0	22,345
接待交際費	0	7,660	0	0	0	0	0	0	7,660
租税公課	4,000	2,800	0	0	0	0	0	0	6,800
保険料	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
雑費	3,700	0	0	0	0	0	0	0	3,700
その他経費計	2,896,450	1,753,901	117,918	323,114	0	122,600	0	0	5,213,983
事業費計	6,685,248	7,750,132	386,820	323,114	0	122,600	0	0	15,267,913

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0	0	0	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	0	0	0
投資その他の資産	0	0	0	0	0	0
出資金	10,000	0	0	10,000	0	10,000
合計	10,000	0	0	10,000	0	10,000

4. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	5,000,000	3,900,000	1,100,000
長期借入金	2,500,000		2,500,000	
合計	2,500,000	5,000,000	6,400,000	1,100,000

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書/事業費)		
旅費交通費	758,242	292,962
材料費	786,702	62,263
謝金	296,000	35,000
事業スタッフ報酬	1,425,000	1,425,000
(活動計算書/管理費)		
旅費交通費	421,260	420,000
理事交通費	24,770	55,940
印刷費	4,719	12,400
雑費	180,996	7,350
活動計算書 計	3,897,689	2,310,915
(貸借対照表)		
貸借対照表 計	0	0

平成25年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成26年6月30日時点

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産の部			1 流動負債の部		
(現金・預金)			短期借入金	1,100,000	
現金	92,728		前受金	2,000,000	
普通預金	1,427,980		預り金	109,396	
(売上債権)			未払金	721,929	
未収金	1,397,000		未払法人税	17,500	
(その他の流動資産)			未払消費税	0	
仮払金	16,879		負債合計		3,948,825
流動資産合計		2,934,587			
2 固定資産合計			III 正味財産の部		
出資金	10,000		前期繰越財産	149,333	
固定資産合計		10,000	当期正味財産増減額	-1,153,571	
			正味財産合計		-1,004,238
資産合計		2,944,587	負債及び正味財産合計		2,944,587

平成25年度 財産目録

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成26年6月30日時点

科目・摘要		金額		
I.資産の部				
1) 流動資産の部				
現金預金	現金	92,728		
	普通預金(村上信用金庫本店)	1,382,057		
	普通預金(新潟労働金庫村上支店)	45,923		
			1,520,708	
未収金	新潟北部地域森林整備加速化.林業再生事業推進部会	1,397,000		
			1,397,000	
仮払金	水道光熱費	175		
	通信費(ゆうメール代)	16,704		
			16,879	
出資金		10,000		
			10,000	
	流動資産の部 合計		2,944,587	
2) 固定資産の部		0		
	固定資産の部 合計		0	
	資産の部 合計			2,944,587
2 負債の部				
1) 流動負債の部				
預り金	源泉税/雇用保険料/社会保険料	109,396		
			109,396	
前受金		2,000,000		
			2,000,000	
短期借入金	新潟労働金庫村上支店	1,100,000		
			1,100,000	
未払法人税		17,500		
			17,500	
未払金	職員人件費(6月分)	528,500		
	職員交通費(6月分業務移動)	44,390		
	理事会交通費	8,840		
	法定福利費	67,116		
	コピーカウンター料金	9,439		
	コピーリース料金	14,280		
	通信費(電話料・メール便代)	28,362		
	新聞料金	2,000		
	水道光熱費	16,229		
	事務用品費	2,773		
			721,929	
	流動負債の部 合計		3,948,825	
2) 固定負債の部		0		
	固定負債の部		0	
	負債の部 合計			3,948,825
3 正味財産の部				
	正味財産			-1,004,238

監査報告書

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター
理事長 忠 隆司 様

私たちは、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日までの会計監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

会計監査について、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検査した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

平成 26 年 8 月 19 日

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

監事

梅田 久子



監事

大滝 国吉





特定非営利活動法人
都岐沙羅パートナーズセンター
つきざら
 Iwafune, Niigata

平成25年度 事業報告

この資料は、平成26年度通常総会時に説明資料として使用したものです。

1 住民活動支援

平成25年度のセンター利用者数：**631件** / **841人** (前年比 +50件 / +31人)

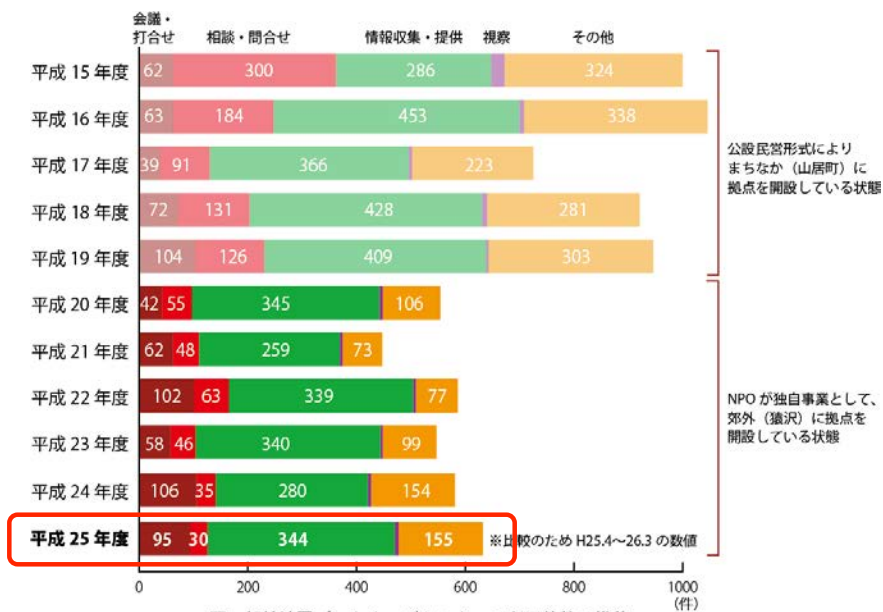


図 都岐沙羅パートナーズセンターの利用件数の推移

しかし、相談・問い合わせは、過去最低だった昨年度を更に下回る結果に…

2 コミュニティビジネス支援

25年度は特に実施せず。

3 地域ツーリズムの開発・プロモーション

【村上地域グリーン・ツーリズム協議会事業】

○旅行関連企業への営業活動

→2回/延べ212名が参加する場で営業活動を実施。

- ・新潟県観光情報交換会（首都圏営業担当者/団体手配担当者）への参加
- ・銀座ビジネス・ボンドにおける村上地域のPR活動

○首都圏で開催されるイベントでのプロモーション活動

→3つのイベントでプロモーション活動を実施。

- ・朝日神社新嘗祭
- ・東京油田もちもちイベント
- ・首都圏での「はさがけ」設置による村上地域のPR

○新潟県グリーン・ツーリズム大会 in 村上・関川・粟島 におけるワークショップの企画運営

→県内グリーン・ツーリズム関係者105名が参加し、
ワークショップ形式での情報・意見交換を実施。

○インストラクター研修会

1回/地域内参加者 8名



【地域ツーリズムのプログラム開発】

○プログラム開発&実験実施

プログラム企画数 : 34本
 プログラム実施数 : 21回 (H24: 11回)
 プログラム参加者数 : 275人 (H24: 200人)
 地域内参画事業者数 : 17団体 (H24: 11団体)

- ・おとなの夜学&ランチ (県村上地域振興局からの事業委託)
 開催数: 5回
 プログラム参加者数: 187人
 地域内参画事業者: 8団体
- ・つきさらカントリーカレッジ (自主事業)
 開催数: 16回 (企画数: 29企画)
 プログラム参加者数: 88名
 地域内参画事業者: 9団体



○朝日まほろば夢農園管理事業

夢農園年間利用者数 : 延べ561人 (H24: 465人/前年比20%増)
 交流イベント参加者数 : 延べ147人 (H24: 183人/前年比20%減)

【地域ツーリズム関連の25年度実績】

事業を通じて生み出した交流人口

→1,300人 (H24: 1,453人/前年比11%減)



【村上市観光協会への協力】

鮭をテーマにしたプログラムを新たに開発し、長岡造形大学の学生を対象としたモニターツアーを実施。
 (H25.12.7開催/参加者44名)

長岡造形大学と協定を締結し、研究会を発足。そこで新たなガイドブックを共同開発を開始。



4 地域づくり事業のコーディネート

○多様な主体が参加した交流機会の創出

3回／参加者238人（H24：216人）

- ・学校と地域を結ぶオープンセッション
参加者数：118人（H24：95人）／地域内参加団体数：23団体
- ・まちカフェ（2回）
参加者数：延べ120人（H24：121人）／地域内参加団体数：延べ51団体

○地域内のまちづくり活動・事業への支援・協力

6回／4団体／3事業（H24：35回／19団体／1事業）

- ・まちづくり協議会事業への支援：1協議会／3回（H24：3協議会／18回）
→あらかわ地区まちづくり協議会／保育園の活用策を探るワークショップ運営支援
- ・新たなまちづくり事業への支援：3事業／4回（H24：1事業／6回）
→県村上地域振興局／地域食料活用促進事業「村上・岩船地域の食材集」の作成
→村上市／蒲萄スキー場活性化検討ワークショップ
→新潟県北部地域森林整備加速化・林業再生事業推進部会／岩船郡・村上市木質バイオマス利活用計画書作成
- ・専門家派遣のコーディネート：無し（H24：5団体／6回）
※H24年度は新潟県新しい公共支援事業により実施していた。
- ・地域間交流事業のコーディネート：3団体／3回（H24：10団体／5回）
→山形県庄内総合支所・新潟県村上地域振興局／庄内・村上岩船地域広域連携推進会議



○地域外のまちづくり活動・事業への支援・協力

2事業（H24：0事業）

- ・東京大学・大槌イノベーション協創事業／SME 担い手発掘&起業支援
→岩手県大槌町の震災復興の一環として、東京大学が中心となって実施している「大槌イノベーション協創事業」に外部アドバイザーとして参画し、地方におけるコミュニティビジネスの立ち上げに関して、専門的知見からの助言・指導を実施。
- ・（株）都市環境研究所／大槌町復興まちづくり計画策定支援
→岩手県大槌町の震災復興計画の見直しに際し、コンサルタントチームの一員として参画し、地方における産業分野の復興に対して専門的な知見（特にコミュニティビジネス育成）を提供。



5 商品開発支援

○村上逸品発掘交流会事業

※農商工連携フェアと同時開催

参加者 : 39人 (H24: 51人)
出品団体 : 4団体 (H24: 7団体)



6 情報発信事業

1) つきさらパートナーズプレス

【実績】

発行回数：8回

発行時期：H25年4～9月 / H26年1月 / 3月

発行部数：1,000部

2) 週末観光情報の編集・情報提供

週末に村上岩船地域内に訪れる観光客を対象にした情報発信ツールとして、「週末観光情報」を作成し、地域内の観光施設や道の駅等に掲示してもらう。

【実績】 発行回数：21回 / 配信先：24カ所



都岐沙羅パートナーズプレス

広がりのある「公」をつくらう 2014年3月号

〒958-0261 新潟県村上市猿沢1238 Tel.0254-72-0663 Fax.0254-72-0723
E-mail info-tsukisara@tsukisara.org URL http://www.tsukisara.org/ 発行:2014.3.31



3月1日、高根集落で昔ながらの結婚式が執り行われました。この結婚式、新郎新婦ともに1ターン者ということもあり、集落をあげての一大行事になりました。花嫁行列&箆筒担ぎという昔ながらの風習を見事に再現したのは、実に30年振りだそうです。

中でも「箆筒担ぎ」という風習。50～60代の人たちは、どんなものかは知っていたものの、具体的にどう進めたらよいかはわからないという状況だったとのこと。ここで活躍したのが70～80代の大先輩方です。実際に箆筒担ぎの経験があるのはこの世代の人たちのみ。中心となった準備を進めていた40～60代の方々は、こうした人たちに教えを請い、箆筒担ぎの詳細（箆筒を縛る結び方や行列の際に歌う歌、途中で邪魔が入る「土手止め」と呼ばれるアトラクションなど）を詰めていったそうです。消えか

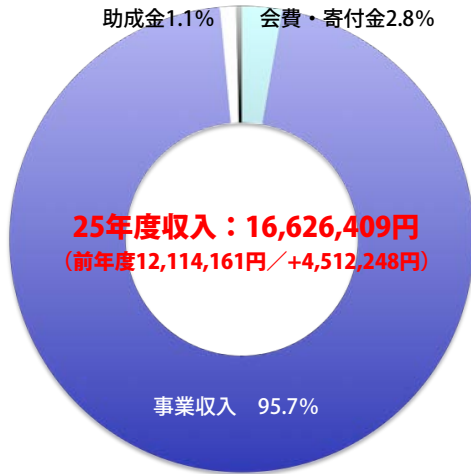
かっていた集落の風習が、ギリギリのところで伝承されたという場面をリアルに目撃させていただきました。

また、この箆筒担ぎは世代間交流も生み出しました。行列の先頭で箆筒を担いでいるのは、集落の若手の人たち（箆筒を本当に担ぐわけですからね・・・）。集落では、どうしても同世代ごとに固まってしまうがちですが、「箆筒担ぎによって多世代が協力し合う」という場が具体的に生まれ、それがスゴク良かった」と高根フロンティアクラブの遠山会長（今回の結婚式の実行委員長）は仰っていました。昔からの風習の仕組みてよく出来ているものですね。

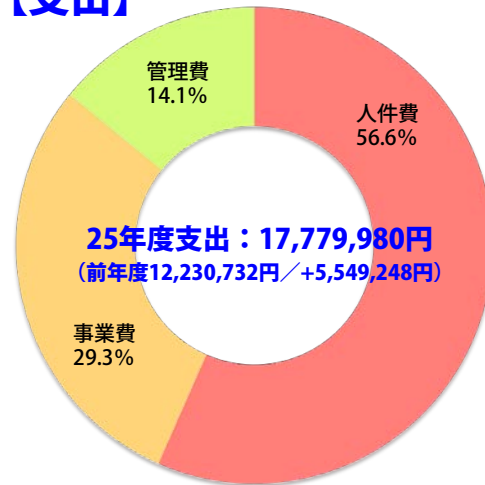
1ターンのヨソモノが触媒となり、消えかかっていた地域の伝統を復活・継承させる。改めて、ヨソモノの力を実感させられた結婚式でした。

平成25年度決算

【収入】



【支出】



当期収支差額 ▲1,153,571円

次年度繰越金 ▲1,004,238円

【収入の推移】

※25年度はH25.4~H26.6の15ヶ月間

	平成23年度	平成24年度	平成25年度※
会費・寄付金	523千円(2%)	551千円(4.5%)	478千円(2.8%)
事業収益	16,435千円(60%)	11,562千円(95.5%)	15,904千円(95.7%)
助成金	10,184千円(37%)	0千円	185千円(1.1%)
その他	105千円(1%)	1千円	59千円(0.4%)
計	27,247千円	12,114千円	16,626千円

過去3年間は収入額が大きく変動し、経営的に非常に不安定な状況です。

【支出の推移】

※25年度はH25.4~H26.6の15ヶ月間

	平成23年度	平成24年度	平成25年度※
人件費	17,021千円(63.0%)	6,176千円(50.5%)	10,054千円(56.6%)
(内常勤職員分)	7,061千円(26.1%)	6,166千円(50.4%)	8,629千円(48.6%)
(内事業スタッフ報酬)	9,960千円(36.8%)	10千円(0.1%)	1,425千円(8.0%)
事業費	7,240千円(26.8%)	3,833千円(31.3%)	5,214千円(29.3%)
管理費	2,752千円(10.2%)	2,221千円(18.2%)	2,512千円(14.1%)
計	27,013千円	12,230千円	17,780千円

この数値を合算した金額が現状を維持していくための経常経費です。
※平成25年度は15ヶ月間ですので金額が増えていますが、12カ月換算では平成23年度の金額と同等になります。